

株式会社 木村製作所

ステンレス製フロート
スイッチの老舗、新たな挑戦

納期 相談
企画力 自信有
コスト 相談
オンライン ワン技術
メイドイン ジャパン
試作可 小ロット
量産 対応



多彩なラインナップの小型フロートスイッチ

業務内容
産業用や身近な領域で
液面制御に貢献

さまざまな液面の高さを検出する計測器（フロート式レベルスイッチ）を製造・販売している。ステンレス製を中心に製作するが、樹脂製もフッ素樹脂、ポリプロピレン、塩化ビニールなどの各種素材で幅広くニーズに対応する。

フロート式レベルスイッチはさまざまな液面制御に使われる。例えば、自動販売機の中の冷却水タンク、工作機械の切削油の貯蔵タンク、コンビニエンスストアで使われるおでんのだし汁、揚げ物をするフライヤーの油のタンク、医療用では人工透析器など。産業用から身近なところまで製品を供給している。平成23年に粉体を主とするレベル計大手、関西オートメイション（株）（大阪府北区）のグループに入り、経営強化に取り組んでいる。

強み
自社開発の自動溶接機で
汎用品生産を効率的に

ステンレス薄板の溶接加工を品質よく仕上げる技を持つ。その技を生かして設計・開発したフロート式レベルスイッチ専用自動プラズマ溶接機が、社内で汎用品の効率生産に役立っている。電圧（火の強弱）や回転速度などの膨大なデータがプログラム化され、板厚0・2mm、外径18・54mmの汎用品の生産をパート社員が手際よくこなす。

特殊品製作は熟練社員の技が生きる。ステンレス製品では耐粘、比重差の検知用など、またフッ素樹脂製品では水よりも比重が軽くなるよう作り込める。またポリタンクの小口から入れて使うような直径20mm以下の小サイズ品の機械構造の設計・

製作は、薄肉、磁石の使い方、優れた溶接技術など、他社が容易にまねできない。

設計力
高い知名度、
品質・耐久性に定評

ステンレス製フロート式レベルスイッチ分野の40年来的老舗で、ユーザーからの知名度は抜群。ものづくりにこだわりの持った設計・仕様は定評があり、スイッチ内部機構を丁寧に作り込んでいる。特に高温・高圧など厳しい使用条件下でのスイッチの耐久性・信頼性は他社製品を引き離している。

生産は汎用品のほか、ユーザーの依頼に応じて単品・小ロットの特注品の製作にも対応し、図面設計から手がける。

今後の展望
グループ企業と
切磋琢磨で基盤強化

宮坂典央社長は関西オートメイション（株）の社長と兼務で指揮を執っている。今後5・10年のうちに経営人材の養成をはじめ、営業力、技術開発など総合的に企業基盤を強化する考え。ホームページも刷新し、営業での活用に取り組んでいる。「ステンレス製スイッチの木村」というブランドを強化し、「グループ同士の切磋琢磨で、独立して存在感ある企業にしたい」と宮坂社長は語る。



自慢のステンレス極薄板プラズマ溶接技術

COMPANY PROFILE

株式会社木村製作所

大阪 26

当社の
歴史

昭和43年に前社長が創業し、フロート式のレベルスイッチの分野で歩み続け、昭和54年に株式会社にして本格的にスタートしました。平成元年から主力のステンレス製フロートスイッチだけではなく、各種の樹脂製スイッチも品ぞろえ。前社長が高齢になった事情で、経営の将来を考えて平成23年に関西オートメイション（株）の傘下に入りました。職人技のこだわりを残しつつ、企業体制の整備に力を入れています。

ほぼ半世紀に渡る技術の蓄積があります。フロートスイッチ業界において抜群の信用力・ブランド力を保有しています。

代表取締役社長 宮坂 典央さん



■主な事業内容

フロート式液面制御機器の製造・販売、ステンレス製品の溶接・加工

■主な取引先（納入先）

洗浄機メーカー、食品装置メーカー、医療機器メーカー、工作機械メーカー、冷凍機メーカーなど

住所／〒577-0065
東大阪市高井田中
4-9-6
TEL／06-6781-4018
FAX／06-6781-5223
創業／昭和43年6月
設立／昭和54年1月
資本金／2,000万円
従業員／15名

<http://www.kimura-s.co.jp/>